

「堤防などに、がれきを使ったらどうか?」とのご質問も頂きました。それについて環境省からは、「堤防は強度が必要なので、がれきは使えない。がれきが活用出来るのは、防災林・防潮林の地面に木材チップを使う。土やコンクリートは全てその県の公共工事に使う。丸太は売却出来る。木材チップはバイオマス燃料にも活用する。一方で、復興は時間との闘いでもある。」との事でした。

5月下旬には、がれきの量の推計が、当初見込みよりも少なかったと見直され、国から埼玉県への受け入れ要請は5万トンですが、受け入れを予定している岩手県野田村のがれき量は1万8千トンに減りました。

埼玉県では秩父市・日高市・横瀬町にあるセメント工場での受け入れが5月末に決まりました。新聞報道で、受け入れを表明した市もありますが、実際のところまだ具体的には動いていません。今後、がれき受け入れを必要とする被災地の拡大や、受け入れるがれきの種類の変更などありましたら、お伝えします。

狭山市内には私達の生活ゴミの焼却灰の最終処分場が無い事から、狭山市ががれきを受け入れるには、狭山のゴミの最終処分をお願いしている県内の業者の承諾が必要で、私は県を通して業者への働きかけをお願いしてきました。

がれきの事に限りませんが、行政・議員が「〇〇だから出来ない・難しい」と、やらない理由を述べるのは簡単です。しかし、大変な事でもやろうと手を挙げる人が増えていけば、大きな問題も解決に向かうものだと今回痛感致しました。財政も厳しく、今後は、どちらか一方を選択しないと大きな改善は図れないものが多くなって来ると思います。その時、私はより正しい決断をするべく、皆様の力をお借りし、努力してまいります。

がれき受け入れ反対のご意見にあったアスベスト・カドミウムなどの有害物質対策は、県に確認したところ「埼玉県が3月に現地で検査し、県内での焼却実験でも検査し、基準値以下だった事が確認され、今後も定期的に検査する」との事でした。放射線量については、埼玉県でも検査しておりますが、私が視察した仙台市のがれき処理施設で測定器を持参して調査したところ0.04マイクロシーベルトで、さいたま市で計った数値0.07より低い値でした。

(アンケートの配布方法は、新聞各紙の折り込みで53,970部配布)



震災がれきの仮設焼却施設にて(仙台市)



宮城県知事に震災がれきについて聞きました。

中川ひろしホームページ
<http://hnsayama.life.coocan.jp/>

中川浩 検索

↑ひろしの毎日の活動を公開中!
がれきについても詳しく説明。

ご意見・ご相談などは↓こちらへ

県議会議員 中川ひろし

電話 090-3310-9234 FAX 2958-8643

kids-dream@docomo.ne.jp hnkgw@nifty.com

〒350-1306 狹山市富士見1-3-6 クレアメゾン601



ひろしアドレス

ひろし新聞 137号『感謝』編

2012年6月18日発行

発行者 県議会議員 中川 浩 45才

震災がれきアンケート

ご協力ありがとうございました!

アンケート結果

賛成 95% 賛成 814世帯 どちらかといえば 賛成 56世帯

反対 4% 反対 27世帯 どちらかといえば 反対 12世帯



狭山市長「条件が整えば、受け入れたい」

市長にアンケートの集計結果を伝え、がれきの受け入れについて、皆さんから頂いたご意見をふまえて話しました。

市長からは「困った時には、助け合わなければ。私は条件が整えば、受け入れたい。市議会の同意や、焼却施設の周辺自治会の方などへの説明が必要になる」と回答を頂きました!



アンケート自由記述欄から

(一部より抜粋)

~がれきはゴミではありません。被災者の思い出のつまつた品なんです~

<復興を願う>

- ・高齢者の私達はお金や体力では中々協力出来ません。出来る事は不平不満を言わず、良いと思う事に心からの援助をする事くらいです。
- ・私の住まいは団地の1階で、狭い庭ですが10キロで良ければ、がれきを受け入れても良いです。
- ・去年東北に行きました。がれきの山が自然発火し、消防の方が消していました。

- ・3・11の後、高齢でボランティアが出来ないので、宮城県・岩手県に旅行に行きました。東北にお金を使う目的でした。
- ・自分達のゴミは出来るだけ少なくして、少しでも多くがれきを燃やしてあげて欲しい。
- ・みんなが協力してくれているという気持ちが被災地の人を勇気づけるのだと思います。
- ・1歳と6ヶ月の子供がいます。早く被災地の子供が住みよい街にしてあげたい。「がれき処理」無くして復興はありません。
- ・震災から1年経ってもテレビで見る映像は震災当初からあまり変わった様には見えません。言葉でどれだけいい事を言っても…復興が進まない事が悲しい。
- ・震災前まで充分な電気を頂いていたのに、今となっては皆さんあまりにも自己中心的な気がしてなりません。
- ・中1、中2の子供達と話しました。復興が進まないのなら同じ日本人として受け入れるのは当然の事だと思います。
- ・反対する人の声ばかりが報道されていますが、私の知っているオバサン達は、皆「困った時はお互い様よね」と言っていますよ。
- ・がれきの受け入れに賛成の人は声を上げていないだけで、反対の声ばかりが届いているようです。多くの人が復興を願っています。

<被災県出身の方から>

- ・石巻の津波で、いとこが祖母・夫・息子を亡くしました。一人ぼっちになり、仮設住宅に入っています。早く平和な日が過ごせるようにお願いします。
- ・私の実家、気仙沼は魚の加工場が多い市で、津波に流されたままで、復興出来ずにいます。
- ・私は宮城県出身です。テレビを見ていて、いつも涙が流れてしまいます。
- ・私は青森県八戸出身です。妹の水産加工場が流されてしまいました。それでも放射能が無いだけました。どうか、がれきを少しでも多く受け入れて東北の人達を助けて下さい。
- ・私の故郷は宮城県気仙沼市です。親戚が津波で何人か流されました。個人では何も出来ません。どうぞよろしくお願い致します。



仙台市の震災がれき。ずっと先まで（5月19日）

<狭山市への思い>

- ・以前から狭山市はどうして手を挙げないのかと思っておりました。私に出来る事はわずかな事です。せめてがれきの処理に賛成の意志を明確にしたいと思っていました。
- ・一市民として痛みを分かち合いたいのに意志を表明出来ない事を空しく思っておりました。
- ・市民としても県民としても、狭山市にはまっ先に手を上げて欲しかった。
- ・もしがれきが狭山にあったら…と思うと人事ではない。
- ・狭山市は環境問題に力を入れているとアピールするのであれば、今回のこの問題は積極的に受け入れるべきではないでしょうか。
- ・お互い日本人同士、助け合っていこう。狭山市も早く宣言しよう。
- ・がれき受け入れを了承する事で、狭山市民として誇りに思えます。
- ・狭山市も協力するべきだと思います。（15歳女子）

<東日本大震災に思う>

- ・まさかの時にこそ、互いに助け合うのが日本人の魂であり心だ。国民は浮ついた生活を止め、我慢する事を学ぶべきだ。
- ・このがれき問題で、人間のエゴをあからさまに感じてしまいました。
- ・私は学校で「困った人がいたら助けましょう」と教えられてきました。それなのに、なぜ今こうなのですか。
- ・困っている人がいたら助ける事が当たり前。これが日本人の誇りです。

<反対の方から> (回答は、裏ページに)

- ・アスベストなど、他の有害物質のチェックをしているか心配。
- ・焼却だけががれき処理ではないと思う。自然にやさしい方法を考えて下さい。
- ・放射能を含むものはその場処理が基本です。その地に新しく処理施設を建てるべき。

~~~~~

震災がれきの対応については、多くの方が遅すぎると思っていらっしゃると思います。

今回市民の皆様にアンケートをお願いしたのは、TVなどで報道されているように、受け入れに反対の人が本当に多いのかが疑問だったからです。行政などが実態を把握しないままに、時間だけが過ぎ、積極的に動く事が出来なくなっているのではないかと思い、お願いした次第です。

アンケートが集まり始めた数日で、私の予想をはるかに超える賛成意見が届きました。その時点では私はまず、県内の国会議員、県内外の県会・市町村議員に報告させて頂きました。環境大臣政務官に県内の議員への説明もお願いしました。結果、各議員は皆、この狭山市民アンケートの状況に驚きを隠せない様子で、正しい民意を把握していないかった事に気付く事となりました。そして、これにより国（環境省）や埼玉県の担当課長に、埼玉県でのがれきの早期受け入れを求める事が出来ました。狭山市民の声が県・国へと、思いもしない波紋を広げたのです。

皆様ご多忙にも関わらず、アンケートの自由記述欄には、ほとんどの方がたくさんの思いを書いて下さいました。本当にありがとうございました。今後も、震災がれきの1日も早い受け入れに向けて働きかけを続けるなど、復興対策に取り組んでまいります。

なお、たくさん頂きました国に関するご意見・要望は各国会議員に伝達済みです。国に対するご意見で多かったのは、原発・増税・東電値上げ・政治改革・行政改革についてでした。

（アンケート用紙は、市・県等へ提出はしておらず、個人情報も伝えていません）

### <前回『ひろし新聞』をお配りして以降の動き>

4月4日、埼玉県庁に岩手県議会議長など5人の岩手県議ががれき受け入れのお願いに来ました。そして以下の文章を頂きました。

#### 岩手県議会からの文書

私共としても、出来るなら県内で全てを処理すべきと思っておりますが、被災者の方々からは、がれきを見るたびに胸が痛み、また、亡くなった方を弔う為にも、3年ではなく、もっと早く処理をして欲しいとの声が寄せられています。何卒ご理解とご支援を頂ければ、幸いです。



皆さんから頂いたアンケートの中で「がれきの処理を、被災地で最大限やれば、被災地の雇用などにつながる」とのご意見もあったので、環境省に聞いたところ、被災地にがれきの焼却炉を仮設で31基を建設予定で、現在そのうちの11基が稼働中との事でした。被災地の話では、用地の借り上げに時間がかかり、中々前に進まない地域もあったそうです。